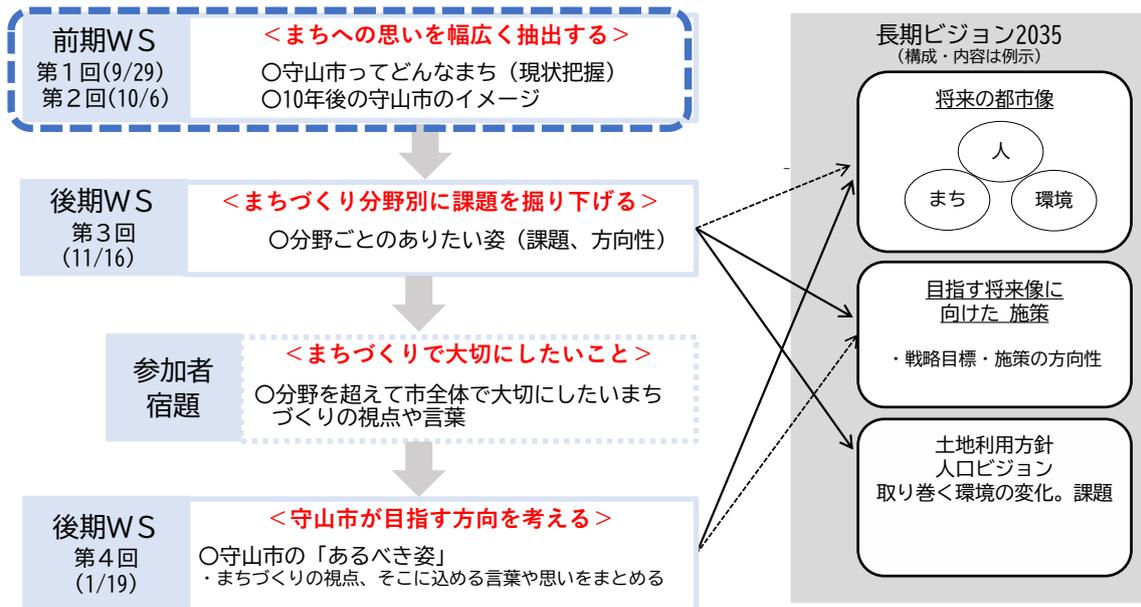


第1回・第2回市民ワークショップ結果概要

1. 概要

(1) 目的

- ・「守山市長期ビジョン 2035」の策定にあたり、市民ワークショップ（市民懇談会）を合計4回開催。前期2回のワークショップは、後期2回のワークショップの検討材料とするとともに、長期ビジョンの現状把握等の検討材料とする。
- ・守山の好きなところと気になるところの現状把握を行い、それらを活かし改善することで10年後どんなまちになってほしいか、市民の思いを幅広く抽出することを目的とする。



(2) 開催日程と参加者

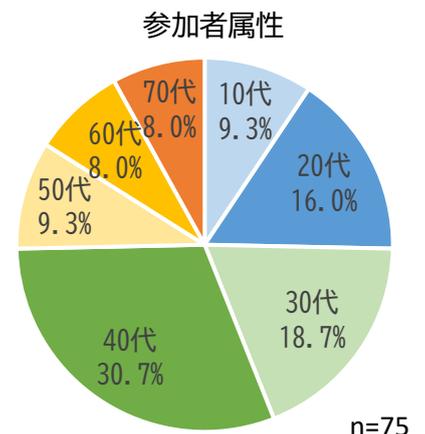
- ・前期ワークショップは市民協働課が実施する市民懇談会形式で実施。ファシリテーターは過去にファシリテーター養成講座を受講した市民や守山市と連携協力に関する協定書を締結している龍谷大学の学生が担った。
- ・北部と南部それぞれで同一内容で各1回開催し、参加者は、16歳から79歳の市民4,000人（無作為抽出）に案内を送付し、希望する日程で事前申し込み（各回40名定員で先着順）

【第1回】

日時：2024年9月29日（日）13:00～16:30
 場所：もりやまエコパーク交流拠点施設 学習室
 出席者：参加者33名、ファシリテーター市民7名、学生6名

【第2回】

日時：2024年10月6日（日）13:00～16:30
 場所：守山市コミュニティ防災センター 研修室
 参加者：参加者42名、ファシリテーター市民8名、学生8名



(3) プログラム

[テーマ] 未来の守山を考える

13:00	受付開始 ・来られた順番に受付でグループを指定				
13:30 (15分)	1. 開会式 ○挨拶 (企画政策課 中島課長) ○事前説明 ・長期ビジョン 2035 の策定について ・守山市のまちづくりの現状 (人口動向 等) について ・ワークショップの概要と目的について				
13:45 (15分)	2. アイスブレイク ・A3用紙を四つ折りにした4つの質問からなる自己紹介シートを着席した方から随時作成してもらう。 <table border="1" data-bbox="411 833 1050 1133"><tr><td>① 呼び名 (名前、ニックネーム等)</td><td>② グッド&ニュー (24時間以内の出来事で「嬉しかったこと」や「新しい発見」など、一つ教えてください)</td></tr><tr><td>③ マイブーム (趣味、休日の過ごし方等)</td><td>④ 守山市のおすすめ (場所、食べ物等)</td></tr></table>	① 呼び名 (名前、ニックネーム等)	② グッド&ニュー (24時間以内の出来事で「嬉しかったこと」や「新しい発見」など、一つ教えてください)	③ マイブーム (趣味、休日の過ごし方等)	④ 守山市のおすすめ (場所、食べ物等)
① 呼び名 (名前、ニックネーム等)	② グッド&ニュー (24時間以内の出来事で「嬉しかったこと」や「新しい発見」など、一つ教えてください)				
③ マイブーム (趣味、休日の過ごし方等)	④ 守山市のおすすめ (場所、食べ物等)				
14:00 (50分)	3. ワークショップ ステップ1 「守山市ってどんなまち」 ・テーブルワークで、守山の好きなどころ、気になるところについて、ふせんを使った意見出し				
14:50 (10分)	休憩				
15:00 (50分)	4. ワークショップ ステップ2 「10年後の守山のイメージ」 ・ステップ1を踏まえ、それらを伸ばしたり改善することで10年後にどんなまちになってほしいかについて、ふせんを使った意見出し				
15:50	5. 発表 ・各グループの代表がステップ1・2の成果をまとめて発表				
16:20 (10分)	6. 閉会式 ○講評 龍谷大学政策学部 只友教授 ○事務連絡 (アンケートの記入、後半WSの予定 等)				

■ブレスト



■テーブルワーク



■発表



■只友教授の講評



2. 結果（主な意見）

(1) ステップ1「守山市ってどんなまち」（詳細は別紙参照）

①好きなところ、良いところ

- ・自然豊か（ホタル、水がきれい、琵琶湖、緑、田んぼ、花、景色がよい）
- ・落ち着いた住環境（田舎と都会のバランスがいい、住みやすい）
- ・子育てしやすい（子どもが多く未来がある、子どもの医療費が安い、学力が高い、公園が充実）
- ・医療施設が充実（大きな病院、クリニックが充実）
- ・公共施設が充実（市役所、図書館がキレイ・オシャレ・未来を感じる、図書館が便利）
- ・平坦な地形（自転車や徒歩で移動しやすい、ビワイチ）
- ・賑わいがある（夏まつり、美術館、イベント）
- ・ひとのつながりがある（人がやさしい、地域活動が盛ん、交流がある）
- ・歴史や文化を感じられる（神社や史跡、火まつり、すし切まつり、ルシオール）
- ・企業誘致、起業支援をがんばっている
- ・交通の便が良い（新快速が止まる、通勤・通学しやすい、道路が整備されている）
- ・買い物が便利（おいしいお店、商業施設が多い、野菜や果物が豊富で新鮮）
- ・安心安全（自然災害が少ない、治安が良い）

②気になるところ、悪いところ

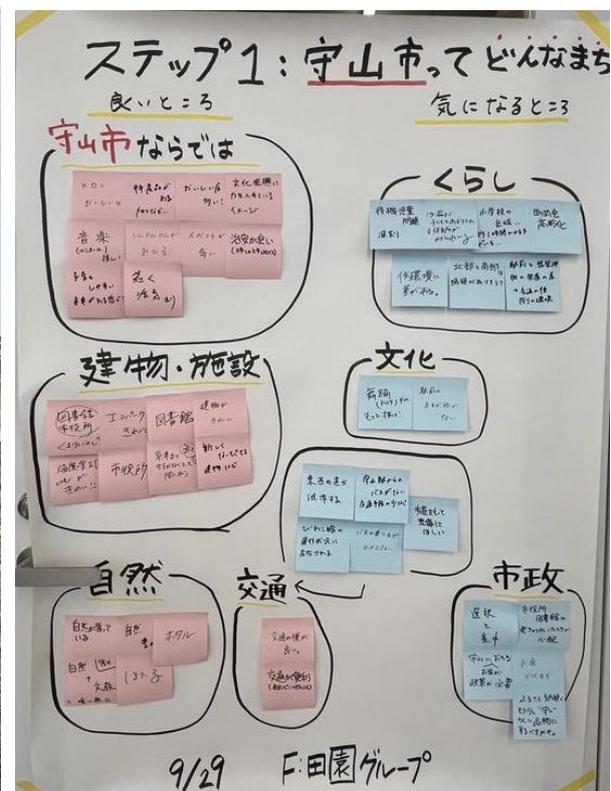
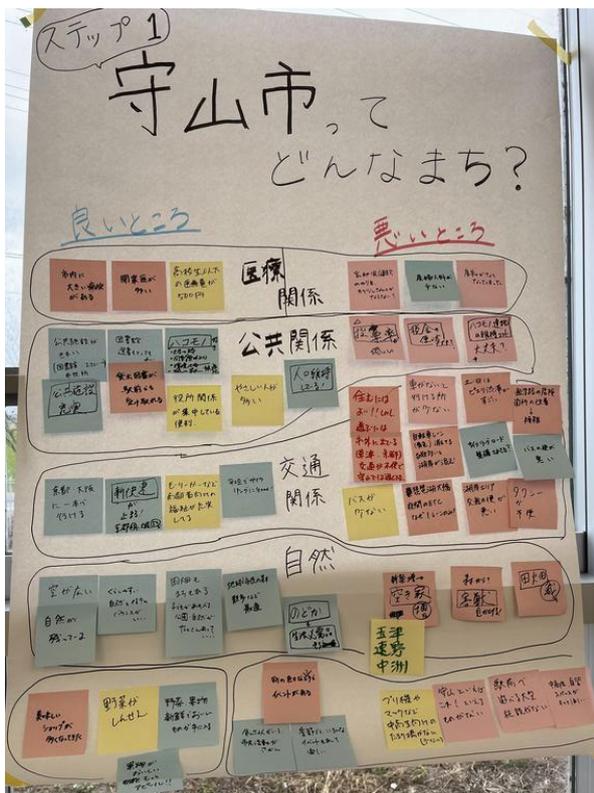
- ・地域交通が不便（バスが不便、タクシーが不便、車がないと生活できない）
- ・道路問題（渋滞が多い、道が細い、街灯が少ない、駐輪場代が高い）
- ・土地利用に偏り（住宅・工業地が混在、土地がない・高い、空き家の増加）
- ・田畑の減少（後継者不足、野生動物による農業被害）
- ・守山といえばこれ！というものがない
- ・駅前が寂しい（商業施設の偏り、セルバ、東側が寂しい）
- ・商業施設が少ない（商店街がない、飲食店が少ない、車でしか行けない）
- ・賑わいが不足（スタバ等高校生が楽しめる場所がない、娯楽施設が少ない）
- ・子育て問題（待機児童、学童が少ない、若者の引きこもり、多胎児支援が少ない）
- ・学校問題（いじめ問題、学校ごとの差、学校までが遠い校区がある、通学路が危険）
- ・医療施設が偏っている（産科がない、病院の予約が取りにくい）
- ・地域差がある（北部は公共交通が不便、駅周辺は都会だが少し離れると田舎）
- ・行財政問題（市の方向性が見えない、予算の使い道、ふるさと納税の工夫、公共施設の維持管理費が心配）

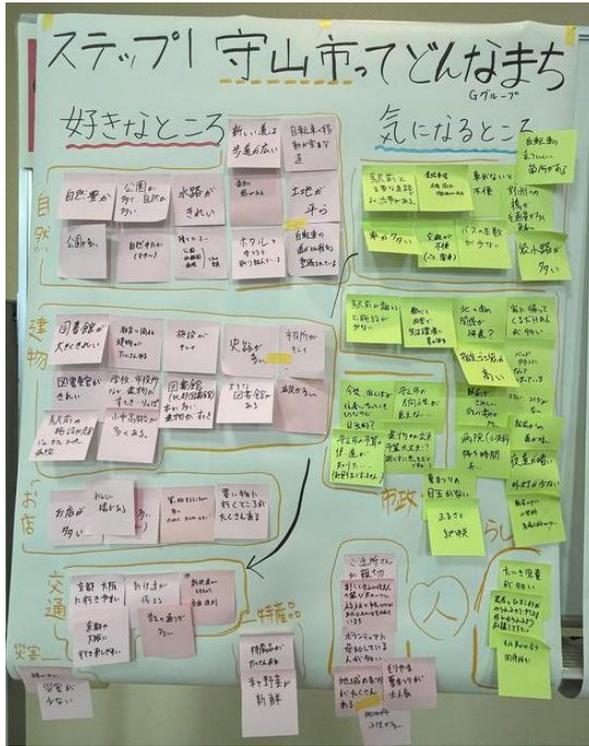
(2) ステップ2 10年後の守山のイメージ

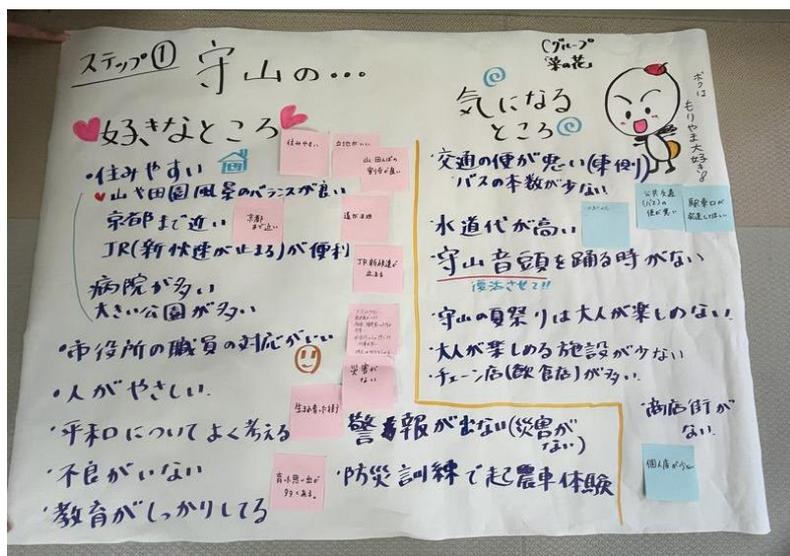
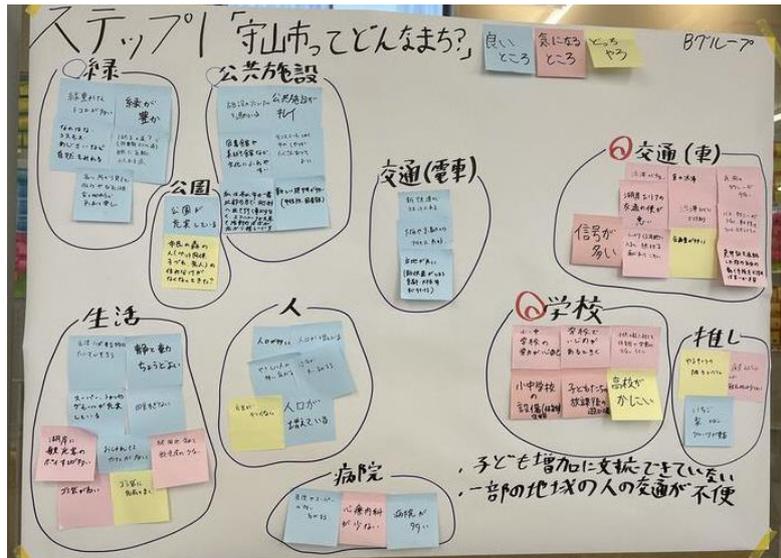
分野	将来の方向	必要な取組
自然・環境	<ul style="list-style-type: none"> ○水がきれいなまち ○自然の豊かさが守られ、共存されている ○豊かな田園都市から変わる時 ○環境資源を活かしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の維持 ・水の美しさ、緑の多さを市民全体で守る ・野洲川の安全を継承 ・資源を活かした地域おこし事業 ・湖の周辺の魅力創出 ・自然教育
子育て・教育	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもを育てながら、働けるまち ○若い家族が負担なく子育てできる ○子育て、教育に力を入れていて、安心して通える学校がある ○若者が楽しく生き生きしている ○不登校やひきこもりで、困っている人を受け入れられる ○子どもたちがのびのび遊べる 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して妊娠、出産、子育てができる支援機能 ・多胎児支援 ・待機児童対策 ・自然型保育の導入 ・未就学児へのサポート ・教育への予算や人材を増やす ・学校学力の底上げ ・タブレットの有効活用(学校生活) ・市内学校の選択制導入 ・持続可能なPTAのあり方の検討 ・子どもの居場所を増やす ・子ども食堂の充実
生活利便	<p>(医療)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医療水準が向上し健康寿命がのびる ○県立病院を中心として医療サービスが充実する、かかりつけ医が近くにある 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院同士の連携強化 ・産科、心療内科の誘致
	<p>(交通)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公共交通手段が充実し、車がなくても暮らせる ○自転車でくらせるまち ○渋滞がなく道路が整備されたまち ○どの地域に住んでいても、便利に移動できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便の改善 ・路線バス、コミュニティバス、モーターカーの充実 ・免許返納者向け支援 ・ライドシェア・サイクルシェアの充実 ・道路の整備・維持 ・自転車専用道路の充実 ・自転車通勤減税の導入 ・自動運転 ・タクシーの増加 ・琵琶湖大橋無料化
	<p>(商業・賑わい)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○衣食住を市内で完結できる(遊ぶ 食べる 人が集まる) ○駅前が活気づいている ○大人も子供も誰でも集い、楽しめる 	<ul style="list-style-type: none"> ・湖岸沿いや駅周辺の活性化 ・商店街、個人店への支援 ・商業施設の増加

分野	将来の方向	必要な取組
コミュニティ・福祉	(コミュニティ・共生) ○地域活動が活性化し、子どもから老人まで、気軽に参加している ○近所のつながりが深いあたたかいまち ○20代30代40代のパワーある人達の意欲や挑戦を受け入れ応援できるまち ○どの世代も、外国人も暮らしやすいまち ○誰もが笑顔であいさつが出来るまち	・自治会業務のスリム化・外部委託 ・市民の交流の場の増加 ・子どもと高齢者をつなぐ取組み ・市民懇談会の増加
	(福祉) ○障害者も住みやすい町 ○老後の不安が解消され、高齢者が自立してすごせる	・高齢者支援の充実 ・多様な人のケアにきめ細やかに対応できる行政サービス・相談支援
住環境	(住環境) ○「住みたい」の選択肢が関西で上位で、若い人達が集まるまち ○自然と都市が融合したバランスのとれたまち ○大学卒業後に帰ってきたいと思えるまち ○人口減を見据えたコンパクト化 ○変化できる町 ○ふるさと自慢できるまち	・田園風景の維持 ・他府県から移住促進 ・琵琶湖沿いの開発 ・企業誘致（ベッドタウンではなく昼間人口を増やす） ・空き家や土地の有効活用
	(安心安全) ○整備がすすんで災害にますます強くなっている ○治安が良いまち	・野洲川の安全を継承 ・防災は市の指導が必要 ・住居の安全、災害に強い街づくり（リフォーム補助、近所のコミュニケーション強化） ・地域の防災ビジョンの作成
産業	(工業) ○企業が増え、税収や雇用が増え、身近に働く場所がある ○創業件数No.1のまち守山	・新しい守山の特産品開発 ・企業誘致、雇用創出、人材確保
	(農業) ○農地が整理されて荒地が減っている ○若者が農業を始めて、モリヤマメロンが全国的に有名になる ○地産地消しやすい環境	・後継者育成 農業支援 ・スクール農園をする ・遊休地を活用した名産品づくり
歴史文化・観光	○自転車（ビワイチ）のまち・スポーツのまち ○びわ湖を活かしたアウトドアのまち ○観光に来たいと思えるまち	・今ある資源の最大限の活用 ・守山といえば（特産品・卑弥呼）をつくる ・公園や広場、琵琶湖を活用したイベント
行政運営	○市のビジョン（考え、方向性）が共有されたまちへ ○困っている人に予算がさけるまち ○ふるさと納税選ばれて日本一 守山市	・市民が市政に参加できる仕組み ・マイナンバーカードを活用したDX促進 ・LINE等情報発信の充実

■ステップ1 結果







■ステップ2結果

